

第 21 回 最先端医療イノベーションセンター 定例セミナー

日 時：2018 年 11 月 9 日（金）18：00～19：00

場 所：最先端医療イノベーションセンター棟 1F マルチメディアホール

○セミナー要旨： 人工知能はすでにブームの時期を過ぎ、医用画像の診断支援や自動診断といった実装が進みつつある。眼科領域でも医師の介在なしに糖尿病網膜症のスクリーニングを行う装置が登場し話題となった。我々も眼科領域の医用画像への人工知能技術の応用をより良い医療につなげるための研究に取り組んでいる。本セミナーでは眼科領域の医用画像への人工知能技術の応用の現状とその課題、ロードマップについて紹介する。

演題・講師：

○演題：緑内障領域の人工知能技術の応用

講師：三木 篤也 脳神経感覚器外科学（眼科学） 講師

○演題：糖尿病網膜症領域の人工知能技術の応用

講師：川崎 良 視覚情報制御学(トプコン)寄附講座 寄附講座教授

○演題：医用画像への人工知能技術の応用

講師：新岡 宏彦 大阪大学 データビリティフロンティア機構 特任准教授

座 長：川崎 良 視覚情報制御学(トプコン)寄附講座 寄附講座教授

◇最先端医療イノベーションセンター 研究開発プロジェクトについて

（最先端医療イノベーションセンターHP より抜粋）

・「再生医療を支援する眼科検査データ管理クラウドサービスの開発」

（B-2 プロジェクト）

眼科分野における再生医療をはじめとする最先端医療の研究・臨床応用において、再生医療製品データ（治療データ）、様々な臨床検査データ、臨床所見（画像等）を管理・提供するクラウドサービスを開発し、診断・治療・フォローアップ結果を、専門医による高度な診断と合せてクラウド上にデータベースとして構築し、拠点病院を中心とした地域連携ブロック全体で共有・展開できる環境・機能を実現します。そのためセキュアな情報管理・ネットワーク技術、患者に紐付けされる情報の効率的な検索・保存技術を確立します。